

学校名 熊谷市立籠原小学校
所在地 熊谷市新堀1143
電話 048-532-4033

1 本校の概要

本校は昭和47年4月に開校した。学区は籠原駅の南側から深谷市に隣接した、新しい商業施設や住宅街が発展している地域である。家庭・地域と「協働」して、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けた子を育て、地域から安心、信頼される学校づくりを推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

「図書を通して、豊かな情操を育てるとともに、正しい知識を身に付けさせ、人間性豊かなものの見方・考え方ができる児童の育成、情報化社会に主体的に対応していく能力の育成を図ること」をねらいとして、以下の実践を行っている。

ア 朝の全校読書・読み聞かせの実施

毎週水曜日の8:10~8:25までの15分間を「全校読書」の時間として設定している。自分で選んだ本を読むだけでなく、計画的に図書ボランティアや補助員の方による読み聞かせを学年ごとに行うことで、本への関心を高めている。

イ 読書目標の設定

読書目標を設定し、読んだ本を図書利用カードに記入する。10冊ごとにシールをはり、100冊読んだ児童に「きらり賞(100冊ごとに賞状)」として校長室で賞状が贈られる。

きらり賞の児童を図書室前に掲示することで、読書への意欲化を図っている。



ウ 親子読書の取組

11月の読書月間に合わせ、家庭で親子いっしょに同じ本を読む時間を設けてもらう。読んだ本の内容について親子で話し合い、考えや感想を話し合い、ワークシートに記入して、教室に掲示する。



エ 図書館の環境整備

- ・ バーコード管理

本や図書利用カードをバーコード化することで貸出がスムーズにでき、本の貸出し状況や利用数等の把握をコンピュータ管理することができる。

- ・ 新しい図書の紹介

新書が入ったとき、図書委員がポップを作り、図書室前に掲示して紹介する。また、新書コーナーを設置し、手に取りやすいようにしている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 全校で読書をする時間を設けることで、読書の習慣化を図ることができた。また、読み聞かせを通し、様々な本にふれることができ、児童の読書への関心を高めることができた。

イ 読書目標がはっきりし、表彰児童を知ることで、読書への意欲が高まってきた。

ウ 保護者や友達の読んだ本に対する考え方や感想を知ることで、より豊かなものの見方や考え方を身に付けることができた。

(2) 課題

読書に積極的な児童とそうでない児童の二極化がある。また、読書をしている児童でも分野に偏りが見られる。

(3) おわりに

より多くの児童が本に親しみ、読書の質を高めるため、家庭・地域の協力を得ながら、読書活動の推進を図っていきたい。